



9月7～20日、大平よしのぶ衆院中国比例予定候補を中心に、公園や駅頭、スーパー前や高校門前などでのシールアンケート、楽しく真剣に語りあう企画など中国地方各地で真ん中世代が「つながろう、語りあおう」と奮闘。

対話数は400人を超え、大平LINEマガジンには23人が新たに登録。18歳の高校生や20歳代の若者が日本共産党の仲間に加わり、赤旗日刊紙・日曜版の電子版を購読する人も増えました。

つながった語りあった

暮らし

未来

希望

山口

美味しく楽しく交流

15日、午前は岩国市でお好み焼き、午後は防府市でかき氷をみんなで作り楽しく語りあいました。「消費税減税を実現して。政治家は暮らしの大変さをわかっているのか」「職場の同僚に共産党のことを知らせたいがどうすればいいか」など出しあい、みんなで考えました。



真ん中世代 チャレンジキャラバン

広島

中高生たちとの 響きあいが

17日、庄原市内のある高校門前でシールアンケート。平和の問題からジェンダーまでたくさんの声、真剣な模索が語られ、日本共産党の政策とも大いに響きあいました。

鳥取

映画人・飲食店主と懇談

10日、鳥取では脱原発や自主映画上映にとりくむ市民活動家、飲食店経営の男性、SNSで積極的に発信する青年たちと懇談。消費税から排外主義まで多岐にわたるテーマで交流しました。



島根

軍事費削って 社会保障に

9日、医療や介護、福祉、保育の現場の実態を聞く懇談。どこでも人手不足と経営難の深刻さが寄せられました。大平氏は「与党とその補完勢力による社会保障費削減の競い合いは許せない。『軍事費削って社会保障に』『ケアを政治の中心に』と求めている」とこたえました。

TOPICS 岩国基地 FCLP 強行問題

国会議員団とともに調査

米軍岩国基地で激しい騒音を伴う空母艦載機の陸上着艦訓練（FCLP）が強行された問題で、日本共産党の大平よしのぶ衆院中国比例予定候補は、山添拓・仁比聡平両参院議員とともに現地を訪れました。

基地強化に反対運動する皆さんとの懇談や基地周辺の住民から聞き取り。「米軍のやりたい放題は許せない」「人が生活しているところでFCLPをやる。日本は人間扱いされていない」など怒りの声が続々と寄せられました。



「しんぶん赤旗」
日曜版電子版
ぜひお読みください



市長と懇談も

午後には市役所を訪れ、福田良彦市長と懇談。市長が二度にわたり上京して政府に市民の声を届け、FCLPの中止と、実施後には抗議を行ったことに敬意を表しながら、「いかなる理由があろうとも二度と岩国でFCLPを実施させない」の一点で力をあわせようと意見を交わしました。



日本共産党
公式YouTubeチャンネル
登録をお願いします



「しんぶん赤旗」
3週間無料キャンペーン
お申し込みはコチラ

